# D06　深層インタラクション

応用研究

おすすめ

## 万博レガシーのアンドロイドと考える「いのちの未来」

### 概要

大阪・関西万博「いのちの未来」パビリオンでは、アンドロイド等の展示を通して、アンドロイド技術を用いた未来のいのちのあり方を示しました。この「いのちの未来」パビリオンの取り組みや研究の一部をレガシーとして展示・保管し、アンドロイドとの共生社会を考えてもらうための展示活動や、人と共生するアンドロイドに関する研究を行います。

### 特徴

- 深層インタラクション総合研究所内に「いのちの未来研究所」（石黒浩特研所長が兼務）を新設し、「いのちの未来」に関する研究・展示活動を行います。
- 大阪・関西万博後に、京都府に譲渡された「いのちの未来」パビリオンに展示されていたアンドロイドを活用します。
- 人々にアンドロイドとの共存社会を想像してもらい、アンドロイドの意義の理解や、アンドロイドの受容性を深めてもらうための展示活動（収益事業も含む）を行います。
- 日常空間における人とアンドロイドの自然で心地よいインタラクションを実現するための技術に関する研究開発を行い、展示活動を通して技術を紹介します。

### 今後の展開

- 「いのちの未来」パビリオンにおける展示コンセプトを継承した展示デモの考案、それらを可能にするアンドロイド技術の開発、展示を通した人々の受容性の調査などを進めます。

### テーマ「京都府と共に創るいのちの未来」との関連

- 京都府に譲渡された「いのちの未来」パビリオンのアンドロイドを活用して、いのちの未来に関する研究・展示活動を行っています。

京都府に譲渡されたアンドロイド

いのちの未来パビリオンを紹介する展示会@KICK（2026.2.21-22）

**（2026.11.7にも「人とアンドロイドの未来展」として同じ展示を実施予定）**

いのちの未来パビリオンの再演展示
@Museum of Narrative
（東京、高輪）（2026.7.25-9.25）

**連絡先：深層インタラクション総合研究所**
**いのちの未来研究所　担当　港隆史　E-Mail: minato@atr.jp**

本活動は、京都府のアンドロイド研究開発・社会実装推進費補助金の支援を受けたものです。